

## 第4学年 外国語活動学習指導案

指導者 横小路 聡

ALT トッド・シマブクロ

### 1 単元名

Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう (Let's Try! 2 Unit 5)

### 2 単元について

#### ○教材観

本単元の主なねらいは、身の回りにある文房具の言い方に慣れ親しむことと、相手がそれらを持っているかどうかを“Do you have ~?”や“Yes, I do. / No, I don't.”, “I have ~. / I don't have ~.”の表現を使って尋ねたり答えたりして伝え合うことである。児童は、これまでに Unit 2 で“play tag”や“play dodgeball”など普段している遊びの言い方に慣れ親しんだり、Unit 3 で自分の一週間の生活を伝える表現を学んだり、身近なことについて表す言語に出会っている。本単元では、さらに文房具などの日頃学校で使う物の語句や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現 (Do you have ~? / I have ~. / I don't have ~.) に、やり取りを通して慣れ親しみながら、英語を身近に感じさせたい。

本単元では、友達のために文房具セットを作り、それをクラスに紹介する活動をゴールとして設定する。これを通して、「その人のために文房具セットを作る」という明確な相手意識や目的意識を持って児童が学習できると考える。

#### ○児童観

本学級の児童は3年生から外国語活動の時間が週に1時間になり、教科書をもとにチャンツやゲーム、友だちとのやり取りを通して、自分の気持ちや1から20までの数、好きなものなどの言い方を学習してきた。4年生になり、これまで世界のさまざまな挨拶の仕方や遊びや天気、曜日の言い方などに慣れ親しんできた。1学期に行った外国語活動に関するアンケート結果を見ると、「外国語の学習は大切である」「外国語の学習は将来役に立つ」と考えている児童が多く見受けられる。一方で、「授業で学んだことを使って、友達や先生と英語で話したり、自分のことを発表したりしていると思う」と感じていない児童が他の項目に比べて多いことが分かった。また、授業の中で“Really?”や“Me too.”などのリアクションも取り上げてきたが、会話の場面に応じて使うことに課題が見られる。そのため、本単元で、文房具セットを作るために英語で尋ねたり答えたりする活動や、リアクションを用いたやり取りを設ける。そうすることで、話し手が「伝わった」「共感してもらった」と感じ、児童が英語で話したり、発表したりすることの楽しさを実感できると考える。

#### ○指導観

単元のゴールには、児童の「伝えたい」「知りたい」という思いで展開される題材を設定し、児童の興味・関心を高めるような活動が必要である。そこで、友達のために文房具セットを作り、それをクラスに紹介する活動を設定する。

第4時の本時では、友達のために作る文房具セットの材料を集めるためにお店屋さんごっこをペアで行う。本単元で学習する文房具の言い方、相手がそれらを持っているかどうかを尋ねる表現“Do you have ~?”に加え、これまでに慣れ親しんできた数について尋ねる表現 (How many?) やどんな色かを

尋ねる表現 (What color?) を用いて活動に取り組む。さらに、スモールトークを活用する中で発展的な表現“How about ~?”にも触れさせたい。また、児童がコミュニケーションの楽しさを実感できるように、会話の場面に応じたリアクションにも慣れ親しませるようにする。

### 3 「CHALLENGEリスト」の形での学習到達目標(第4学年)

参考：山梨県版 CHALLENGE リスト

聞くこと イ	話すこと [やり取り] ウ
ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ることができる。	学級の友達、先生、ALT 等のサポートを受けて、自分のことや身の回りの物について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、答えたりすることができる。

※「聞くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

### 4 単元の目標

学級の友達に文房具セットを作るために、相手に配慮しながら、文房具などの学校で使う物について、持っている物を尋ねたり答えたりして伝え合う。

### 5 言語材料

#### ○表現

- Do you have (a pen)?
- Yes, I do. / No, I don't.
- I [have / don't have] (a pen).
- This is for you.

#### ○語彙

- have
- 身の回りの物 (glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil sharpener, pencil case, desk, chair, clock, calendar)

### 6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。	学級の友達に文房具セットを作るために、相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして、伝え合うことができる。	学級の友達に文房具セットを作るために、相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとすることができる。

7 単元の指導と評価の計画(全4時間)

時	目標 (◆) 主な活動 (○) 誌面化されている活動 (【 】)	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価規準〈評価方法〉
1	◆文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。  ○Small Talk “How are you?” ○単元のためを確認する。 ・インタビューのデモンストレーション(ゴールの姿)を見せ、単元のゴールを示す。 ・文房具セットについてのイメージを膨らませるために、具体的なエピソードを話す。 ○何かな、予想しよう。 ・指導者の質問に答えたり、持っているものを数えたりする。 ○誌面を見てどのようなものがあるかを発表し、文房具の言い方を知る。 ○【Let's Watch and Think 1】 P.18 ・文房具の言い方を知り、その数を数える。 ○【Let's Play 1】 I spy ゲーム P.19 ・指導者のヒントを聞いて、自分の持ち物から該当するものを探して言う。 ・指導者に質問に答える。 (○BINGO ゲーム)				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
2	◆文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。  ○Small Talk “How many?” ○BINGO ゲーム ○カード・デスティニー・ゲーム ○【Let's Chant】 Do you have a pen? P.19 ・ペアで、自分の立場で答える形でチャンツを言う。 ○【Let's Listen】 P.20 ・筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて番号に名前を書く。 ・筆箱の中身について指導者の質問に答えたり、ペアでやり取りしたりする。				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
3	◆文房具などの学校で使う持ち物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。  ○Small Talk “What color?” ○【Let's Chant】 Do you have a pen? P.19 ○【Let's Watch and Think2】 P.20 ・世界の子どもたちのかばんの中に持っている物を知り、自分たちの持ち物を比べて気付いたことを□に記入する。 ○【Let's Play2】 P.21	○			知 相手が必要とする文房具を持っているかどうかを“Do you have ~?”や“Yes, I do.”を使って尋ねたり答えたりしている。

	・ペアの一人が文房具カードを誌面において文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。				
4	◆相手がほしい文房具や色、数について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○Small Talk “Do you like ~?” ○【Let’s Chant】 Do you have a pen? P.19 ○相手がほしい文房具セットをインタビューする。 ・どんな文房具が欲しいかやどんな色が好きか、仕手にインタビューをして、それをもとに文房具セットの注文票を作る。				★本時では、目標に向けて指導は行わうが、記録に残す評価は行わない。
5	◆相手に配慮しながら、文房具などの学校で使う物について伝え合おうとする。				
本時	○【Let’s Chant】 Do you have a pen? P.19 ○【Activity】 文房具セットを作ろう。P.21 ・お客さんとお店屋さんに分かれて、友達のために文房具セットを作る。 ○文房具セットクイズ ・クイズを通して、児童が友達のために作成した文房具セットをクラスに紹介する。		○	○	【思】文房具セットを作るために、必要なものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。 【主】文房具セットを作るために、必要なものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

## 8 本時の学習

- (1) 日時 令和3年10月27日(水) 5校時(13:55~14:40)
- (2) 場所 外国語教室
- (3) 目標 相手に配慮しながら、文房具セットを作るために、必要なものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。
- (4) 展開例

時間	児童の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準(評価方法)
4	○挨拶をする  ○活動で使用する文房具の言い方を復習する。  ○【Let’s Chant】 Do you have a pen? ・音声に合わせてチャンツを言う。 ○本時のめあてを確認する。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・児童が本時に活用できるように、フラッシュカードを使って既習の表現を復習する。 ・児童の実態により、スピードを選ぶ。	デジタル教材
	めあて 友だちに文ぼう具セットを作るために、たずねたり答えたりしよう。		
25	○【Activity】 ・お店屋さんごっこの進め方を確認する。		◎文房具セットを作るために、必要なものを尋ねた

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣同士でペアを作り，お客さんとお店屋さんに分かれてやり取りをする。</li> <li>・お客さんは友達の欲しい文房具セットを注文する。お店さんは注文を聞き，文房具の小カードに色シールを貼ったり，数字を書き込んだりする。あらかじめ小カード13種類の中からお店で販売する8種類を選んでおく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HRT がお客さん役，ALT がお店屋さん役でデモンストレーションを見せる。</li> <li>・途中でよいやり取りや工夫を児童に紹介する。</li> <li>・活動に加わりながら，必要に応じて支援する。</li> </ul>	<p>り答えたりして伝え合っている。 &lt;行動観察・振り返りシート記述点検&gt;</p> <p>◎文房具セットを作るために，必要なものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。&lt;行動観察・振り返りシート記述点検&gt;</p>
	<p>&lt;想定される児童のやり取り例&gt;</p> <p>A/B: Hello.</p> <p>A: Do you have (文房具) ?</p> <p>B: Yes, I do. What color? / No, I don't.</p> <p>A: (色) .</p> <p>B: How many?</p> <p>A: (数) .</p> <p>B: Here you are.</p> <p>A: Thank you.</p>		
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前半が終わったところで，いくつかのペアが全体の前でやり取りを発表する。</li> <li>・作成した小カードを台紙にのり付けして，お客さんに手渡す。</li> <li>・時間で区切り，後半は役割を交換して同様にやり取りをする。</li> </ul> <p>○文房具セットクイズをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が作成した文房具セットの中身を確認するクイズをする。</li> <li>・質問を通して，班の友達の文房具セットの中から，代表の児童の文房具セットがどれかを当てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり取りの中でよかった点を伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めはデモンストレーションとして，児童が教師に文房具セットの中身について質問する。答えをもとにどの文房具かを当てる。</li> </ul> <p>S: Do you have 文房具?</p> <p>T(代表): Yes, I do. / No, I don't.</p>	
5	○振り返りシートを記入する。		
1	○挨拶をする。		

HはHRT, AはALT, Sは児童を示す。

(5) 評価規準

おおむね満足できる状況

知識・技能(3時目で評価)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
相手が必要とする文房具を持っているかどうかを“Do you have ~?”や“Yes, I do.”を使って尋ねたり答えたりしている。	文房具セットを作るために、必要なものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	文房具セットを作るために、必要なものを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。